

ここが、
「治療学」リーダー
への入り口である。

博士課程教育リーディングプログラム
免疫システム調節治療学推進リー養成プログラム

令和3年度（第2回）

選抜要項

千葉大学大学院医学薬学府 4年博士課程



博士課程教育リーディングプログラム 「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」

選 抜 要 項

＜プログラムの概要＞

千葉大学大学院医学薬学府博士課程では平成25年（2013年）4月より、「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」の学生を受け入れ、博士課程教育を開始しました。

このプログラムは、千葉大学の100年以上にわたる医学や薬学分野における人材育成の実績を基に、難治性の免疫関連疾患（アレルギー、自己免疫疾患、癌、心血管疾患など）を中心とした疾患の新規治療法開発を推進するリーダーを養成することを目指しています。

このプログラムに採用された学生は、医学と薬学の枠を越えてグローバルに産学官で活躍できる「治療学」推進リーダーになるべく、ローテーション演習や海外研修などの特別な教育カリキュラムを受講し、リーダーシップを鍛錬することができます。博士号の取得後も支援を受けることができ、更なるステップアップとして未来医療教育研究センターのポジションに就くなどのキャリアパスも用意されています。プログラム修了者には、国内外の大学や研究所、製薬企業等での新規治療薬・治療法の開発、大学病院などの基幹病院での先端医療、あるいは医療行政機関等における医療施策において、実践的なリーダーとして活躍することが期待されます。

この目的のため、千葉大学大学院医学薬学府4年博士課程に入学を予定している者及び在籍者の中から、約10名が選抜され、このプログラムに沿ってリーダー養成教育が進められます。

「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」ホームページ

<https://www.m.chiba-u.jp/dept/lgs/>

1. 募集人員

10 名程度

2. 申請資格

申請できる者は、次の(1)かつ(2)を満たす者、または(3)に該当する者とします。

- (1) 医学薬学府先端医学薬学専攻（4年博士課程）に令和3年4月に入学する者
- (2) 指導教授の承諾を受けている者
- (3) 個別の申請資格審査により、申請資格を有すると認められた者

3. 申請手続

- (1) 申請書受付期間

令和3年3月3日（水）から5日（金）まで

郵送の場合、最終日17時までに必着とします。必ず簡易書留とし、封筒の表に「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」と朱書きしてください。

持参の場合、受付は9時から17時までとします。（12時から13時を除く。）

申請に際しては、あらかじめ志望する研究領域・研究室の指導教授に照会のうえ、必ず承諾書も併せて申請してください。

※令和3年度卓越大学院「革新医療創生 CHIBA 卓越大学院」選抜試験との併願について
本選抜試験と令和3年度卓越大学院「革新医療創生 CHIBA 卓越大学院」選抜試験との併願をすることができます。併願希望者は、本プログラム申請書類のうち承諾書（様式 2）及び卓越大学院プログラム申請書類一式を併せて提出してください。

- (2) 申請書提出先

千葉大学亥鼻地区事務部学務課卓越大学院プログラム担当

〒260-8675 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

TEL:043-226-2817

E-mail:igaku-taku@chiba-u.jp

4. 申請書類

下記の書類を揃えて提出してください。

提出書類	摘 要
(様式1) 「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」選抜試験申請書・写真票、 受験票、写真票（2枚）	必要事項を漏れなく記入し、写真2枚を貼り提出してください。写真は、申請前3ヵ月以内に撮影（上半身、正面、脱帽）のもの。縦4cm×横3cmを申請書・写真票に貼付してください。

(様式2) 承諾書	志望する研究領域・研究室の指導教授の署名・押印を受けたうえで、提出してください。
自己アピール用バイオスケッチ	A4版縦型PDF形式1枚を3月5日(金)迄に亥鼻地区事務部学務課卓越大学院プログラム担当 (igaku-taku@chiba-u.jp) へメール添付で提出してください。
TOEIC または TOEFL スコアカードの写し	スコアカードを提出できない場合は、亥鼻地区事務部学務課卓越大学院プログラム担当へ事前に問い合わせてください。

5. 選抜方法等

選抜は、提出された書類、医学薬学府で実施された入学試験の成績、本選抜の学力検査及び面接を総合して判定します。

(1) 選抜試験科目

- ① 英語：生命科学に関する英語
- ② グループディスカッション：与えられたテーマでの英語によるグループディスカッション
- ③ 面接：英語による約1分間の自己アピール（自己紹介、研究紹介）及び英語による質疑応答

申請時に提出した自己アピール用バイオスケッチ1枚(A4 PDF形式)を使用します。

(2) 選抜試験日時・会場

月 日	時 間	科 目	会 場
令和3年 3月16日(火)	9:00~10:00	英語	千葉大学 医学部
	10:30~12:00	グループディスカッション・面接	
	13:00~17:30	(受験番号により午前或いは午後)	

6. 注意事項

- (1) 面接時間、場所等については、試験日当日に発表します。昼食を用意して来学してください。
- (2) 申請書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (3) 自家用車での来学は避けてください。
- (4) 医学薬学府で実施された入学試験で収集した個人情報を、本選抜の選抜試験の選考に利用します。
- (5) 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。
- (6) 選抜試験の過程で収集した個人情報は、選抜試験の実施のほか、管理運営業務、就学指導業務、プログラム選抜方法等における調査・研究に関する業務を行うために利用します。

7. 合格者発表

令和3年3月30日(火) 10時

医学部掲示板に発表(掲示期間4月6日(火)まで)するとともに、合格者には合格通知書をガイダンス時に交付します。また、合格は志望する研究領域の指導教授にも通知されます。

8. 入学後のプログラム履修について

本プログラムに選抜された者は、通常の医学薬学府4年博士課程のカリキュラムに加え、本プログラム独自のカリキュラムを履修します。具体的には、「治療学」に関連する「領域横断科目」9単位、「治療学特論」4単位、「治療学演習」2単位、「治療学実習」1単位の16単位以上を取得することが求められます。また、履修期間には海外の研究機関での研修等も含まれます。

学位審査発表は全て英語で行われます。本プログラム修了者には、博士（医学）又は博士（薬学）が授与されるとともに、「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」を修了したことが学位記に付記されます。

9. 「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」ガイダンス

「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」を受けることとなる学生へのガイダンスを、入学式の当日行う予定です。ガイダンスの詳細はホームページ等で公表します。

Name: Taro Chiba

Affiliation:

Department of.....,

Graduate School of Medicine, Chiba University

Degree: M.D., Master of Science

Major: Pediatrics

Research interest or ongoing projects:

Please provide a cartoon of your
project or research interest

令和3年度(第2回)
免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム
選抜試験申請書・写真票

令和3年度(第2回)免疫システム調節治療学推進リーダー養成
プログラム選抜試験の受験を申請します。

ふりがな	
氏名	

受験番号
※

※印の欄は、記入しないでください。

志望する研究領域・研究室の指導教授名

連絡先	
〒	
電話	携帯
e-mail	

写真 (4cm×3cm) 最近3ヶ月以内に撮影したもので上半身、正面、脱帽のものを貼ること。受験票に貼ったものと同じもの。

令和3年度(第2回)
免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム
受験票

受験番号
※

試験日時：令和3年3月16日(火) 9時00分～17時30分
会場：医学部 (試験室は3月15日に医学部掲示 板に掲示します。)

※印の欄は、記入しないでください。

ふりがな	
氏名	

写真 (4cm×3cm) 最近3ヶ月以内に撮影したもので上半身、正面、脱帽のものを貼ること。写真票に貼ったものと同じもの。

承 諾 書

医学薬学府長 殿

入学予定者（氏名）_____ が、博士課程教育リーディングプログラム「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」の選抜試験を受験し、合格した後は、プログラムを履行することを承諾します。

_____ 年 月 日

研究領域名 _____

指導教授名 _____ 印



■お問い合わせ先

千葉大学亥鼻地区事務部学務課
リーディング大学院プログラム担当
〒260-8675 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL : 043-226-2817
E-mail : lgs-jimu@chiba-u.jp

